

自己点検・評価報告書

(令和5年度事業分)

令和6年8月

松浦市教育委員会

※留意点

- 本報告書中の「評価」については、A…達成している、B…概ね達成している、C…達成していない、としています。
- 本報告書中の「教育委員会」とは「狭義の教育委員会(教育委員の合議体)」を意味します。

1 教育委員会及び教育委員の活動について

項 目		評価	活動内容 等
(1) 教育委員会会議の運営	① 会議の開催回数	A	○定例会を12回開催した。
(2) 市長との連携		B	○市長が設置した総合教育会議において、本市教育の現状等について意見交換を1回行った。 R5.8.30 ・年度内2回の開催を計画していたが、1回となった。
(3) 教育機関等との連携	① 学校への訪問	A	○学校訪問として令和5年度は今福中学校を訪問した。この日はアジフライデーと同日でもあり、給食交流も併せて行った。 R6.2.16 ○入学式、卒業式、その他諸行事の折、各委員それぞれ各学校を訪問した。
	② その他施設への訪問	A	○長崎県立松浦高等学校との意見交換会を実施した。 松高みらい教育懇話会 第27回 R5.7.20 第28回 R6.2.21【※欠席】 ※第28回については、同日の定例会の開会時間が遅れたことにより欠席
(4) 教育委員の自己研鑽		A	○5/29令和5年度長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会及び県市町教育委員会合同研修会(佐世保市) ○11/17令和5年度市町村教育委員会研究協議会(佐世保市) ※協議会において、松浦市は分科会発表における「教育行政」担当となり、教育長が発表を行い、各教育委員も司会、記録者、全体報告と分担して役割を遂行した。

2 教育委員会が管理又は執行する事務について

項 目	評価	活動内容 等
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	A	○令和5年度松浦市教育方針及び松浦市教育努力目標 (R5.3.29 3月定例会で議決)
(2) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他進退について内申すること	A	○教職員の人事内申に係る決定 (R5.2.24 2月臨時会で議決)
(3) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと	A	○規則・規程・要綱の制定改廃議案…18件 【制定】1件 ・松浦市立水中考古学研究センター特別顧問の設置に関する要綱の制定 【改正】5件 ・松浦市教職員住宅規則の一部改正 ・松浦市教育委員会処務規則の一部改正 ・松浦市自治公民館補助金交付要綱の一部改正 ・松浦市立上志佐小学校特別転入学に関する要綱の一部改正 ・松浦市文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱の制定
(4) 教科用図書の採択に関すること	A	○令和6年度使用小学校教科書の採択に係る決定 (令5.7.20 7月定例会で議決)

3 学校教育の環境整備に関する事務

項 目	評価	活動内容 等
(1) 学校施設整備の推進	① 学校施設長寿命化計画の見直し	A ○松浦市学校長寿命化計画改訂版の作成し、令和5年5月の教育委員会定例会にて報告
	② 学校施設長寿命化計画に沿った学校施設の整備	A ○各小中学校屋内運動場照明改修の実施 ・今福小学校屋内運動場照明設備LED化 ・上志佐小学校屋内運動場照明設備LED化 ・調川小学校屋内運動場照明設備LED化 ・青島小中学校屋内運動場照明設備LED化
	③ 学校施設・設備に関する定期的な現地ヒアリングの実施	A ○予算編成時に各学校を巡回してヒアリング等を行い緊急性・実効性の評価判断に即した予算配分の実施
(2) 学校給食施設整備の推進	① 鷹島学校給食調理場改築に係る設計業務	A ○鷹島学校給食調理場改築に業務を実施 ・鷹島学校給食調理場改築設計業務委託 7,080千円 ・鷹島学校給食調理場改築予定地地質調査業務委託 6,512千円
	② 松浦中央学校給食共同調理場長寿命化計画に沿った年度毎の整備計画	A ○調理場洗浄室空調機取替修繕他26件の修繕を実施
(3) 学習環境整備の推進	① 統合型校務支援システムの本格運用のスムーズな実施	A ○統合型校務支援システム運用経費 5,738千円（内訳） ・統合型校務支援システム使用料 4,224千円： ・運用に係る保守料 264千円 ・回線使用料等諸経費 1,250千円
	② 電子機器(電子黒板、学習用端末・デジタル教科書等)の更新計画の作成	A ○令和6年度以降の更新計画を計画し、学校、財政部局との協議を行った。
(4) 安全・安心な学校給食の提供	① 食物アレルギーによる事故件数0件の継続	A ○食物アレルギーについては、代替食等による対応を実施しており、年間を通じて事故報告なし。食物アレルギー対応マニュアルに則り、万全な対応をしている。 〈R5アレルギー対応者〉 松浦中央：0人、福島：0人、鷹島：0人

項 目		評価	活動内容 等
	② 調理場における異物混入等による事故件数0件の達成	A	○異物混入等による事故件数0件。 ・異物混入事案のうち、調理場内での異物混入が確認されたものは、8件(松浦中央2件、福島4件、鷹島2件)であったが、児童生徒の誤飲による身体への影響(事故)はなかった。 ・事故防止のため、「よい職場づくり」の研修を4回行った。(中央)
	③ 松浦産食材・県内産食材の積極的な活用	A	○地産地消については、食材の価格が高騰する中で、3調理場とも地元産米、野菜、魚類等、可能な限り県内産食材の購入に努めた。 令和5年度は79.2%の割合となった。
(5) 教育委員会・総合教育会議の円滑な運営	① 教育委員会(定例会・臨時会)の審議活性化に向けた調査・研究の実施	A	○毎月の定例会の円滑な実施に努めた。 開催場所については、市役所等のほか、鷹島公民館、福島公民館などで実施した。 会議録を速やかに作成し、ホームページに掲載。会議内容の周知に努めた。
	② 総合教育会議(年2回)の審議活性化に向けた調査・研究の実施	B	○「教育のまち 松浦」の確立に向けて、第1回は令和5年8月30日に「部活動の地域移行と今後の見通しについて」を協議項目として開催した。第2回は令和6年2月21日を開催予定とし準備を進めていたが、諸事情により中止となり、5年度は1回のみで開催となった。

4 学校教育の推進に関する事務

項 目		評価	活 動 内 容 等
1 確 かな 学 力 の 育 成	(1) 主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び の 実 現 に よ る 児 童 生 徒 の 学 力 の 向 上	①授業を磨き合う 校内研修の推進	A ○「授業研究や事例研究等実践的な研修」における「よくしている」と回答した割合（R5全学調学校質問紙調査、（ ）は全国値） 〔小学校〕 66.7% (62.6%) 〔中学校〕 71.4% (45.2%) ・小中学校ともに、全国値を上回り、授業を中核においた校内研修が実施されている状況にある。 ・毎月の市校長研修会、市教頭研修会において、校内研究の充実及び授業改善の推進を指導した。また、児童生徒の学びを支える学級の支持的風土の醸成及び安全安心な学級づくりについても指導を行った。 ○市研究主任研修会を年2回開催し、各校での学力向上対策の質の向上について指導を行った。
		②各種学力調査を生かした授業改善と家庭学習の充実	A ○「授業内容がよく分かる」の回答割合(R5全学調質問紙調査、（ ）内は前年度) 〔小学校〕 国語86. 0(78.2) (+7.8)、算数79. 8(76.0) (+3.8) 〔中学校〕 国語79. 3(79.0) (+0.3)、数学73. 0(73.9) (-0.9) ・小学校国語、算数及び中学校国語は、前年度を上回ったが、中学校数学はここ数年間、下回る傾向にある。 ・市教育基本計画の目標値(85%)については、小学校国語のみ達成できた。その他の教科も徐々に向上傾向にある。 ○「平日1日あたり何時間勉強をしますか」における「30 分未満」の回答割合。（R5全学調質問紙調査、（ ）内は全国値） 〔小6年〕 7. 8 (16.0) 〔中3年〕 27. 5(15.9) ・小学6年生は改善し、全国と比較しても良好な状況にある。 ・中学3年生は4人に1人が30分未満。指導改善を要する。 ○松浦市学力調査の同一集団経年比較における前年度より向上した学年を有する学校数 〔小学校〕国語 9校／9校、算数 9校／9校 〔中学校〕国語 3校／7校、数学 3校／7校 ○学校指導訪問A訪問の実施 ・志佐中(9月)、御厨小(10月)、調川小(11月)3校への学校指導訪問を実施し、教科指導力及び授業改善について、教科指導員による直接指導を行った。
		③研究指定校を中核とした研究の推進及び普及	A ○市教育委員会研究指定校2校(鷹島小・今福中)の研究推進 ・鷹島小学校[R6. 1. 26 研究発表会開催]※兼県研究指定 〔研究テーマ〕「自ら学びに向かう鷹島っ子の育成～長崎県学びの活性化プロジェクトの実践～」 ○県教育委員会研究指定(御厨中・鷹島小学校)研究発表会 ・御厨中学校[R5. 11. 29 研究発表会開催] 〔研究テーマ〕「深い学びに向けた授業・家庭学習の創造～学びに向かう力の育成を目指して～」

項 目		評価	活 動 内 容 等
	(2)ICT環境を活用した教育活動の充実	A	○「ICT機器・デジタル教科書を活用して授業を行うことができる教師の割合」(R5 情報化実態調査より、()内は前年度) 〔小学校〕76.5%(81.0%) 〔中学校〕86.6%(84.3%) ・1人1台タブレットや電子黒板を活用した授業が増えた。 ・不登校児童生徒等を対象とする遠隔授業も実施されている。 ・家庭学習でのタブレット活用した予習型授業の研究も推進されている。
	(3)小中学校9年間を通した外国語教育の充実	B	○「CEFR のA1レベル相当以上の英語力をもつ中学3年生の割合」(公立中学校英語教育実施状況調査、()は前年度) 28.5%(37.8%)※CEFRA1 レベル相当=英検 3 級相当 ○「授業において発話の半分以上を英語で行う教員の割合」(公立中学校英語教育実施状況調査、()は前年度) 72.2%(100.0%) ・英語科担当教員に対する研修会等の積極的受講を指導 ・授業を中核とした研修の充実及び授業改善の推進
2 豊 か な 心 の 育 成	(1)道徳教育の推進(教育活動全体・「考え・議論する」道徳科)	A	○「自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)」の肯定的回答 〔小学校〕83.8%(78.8%)、〔中学校〕84.2%(74.5%) ○「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う(承認)」の肯定的回答 〔小学校〕94.9%(88.3%)、〔中学校〕84.7%(88.6%) ○「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答 〔小学校〕87.2%(83.3%)、〔中学校〕90.5%(89.2%) (以上、R5全学調質問紙調査、()は前年度) ・いずれも約8割～9割が肯定的回答であり、全体として前年度より向上傾向にある。 ○「長崎っ子の心を見つめる」教育週間の実施校数(16/16校) ・生命尊重に関する校長講話 ・道徳科授業の外部公開 ○市内一斉のオープンスクールの再開(6月～2月) ○松浦市生徒代表者会議の開催(令和5年8月3日) ・市内全中学校7校の参加。いじめ根絶標語づくりの発表他
	(2)ふるさと教育の充実(探究的な学びとキャリア教育の推進)	A	○「ふるさと教育」年間計画に基づく実施校数 16/16校 ・中学校区ごとの7年間(小3～中3)を見通した「総合的な学習の時間の『ふるさと教育』年間指導計画」に基づく実施 ○「キャリア教育」の実施校数 16/16校 ・中学校職場体験学習の実施校数 7/7校
	(3)読書を通じた有用性(言語力・知識・感性・表現力・想像力)の向上	A	○「読書は好きですか」の肯定的回答(R5全学調「質問紙調査」、()内は前年度比) 〔小学校〕69.3%(－2.8%) 〔中学校〕59.3%(－7.6%) ・前年度より低調傾向にある。 ○「家庭における読書の働きかけ」に取り組む学校数 16/16校 ○「魅力ある学校図書館づくり」に取り組む学校数 16/16校 ○「図書標準冊数」蔵書率103.1% (91,516冊)

項 目		評価	活 動 内 容 等
3 健 や か な 体 の 育 成	(1) 健康・安全教育の徹底	① 児童生徒の健康・安全に対する自己管理能力の育成と防災教育の充実	A ○「食育を学校行事の中で行っている学校数」 11/16校=68.8% (R5学校運営調査より) ○「食育を地域との関わりの中で行っている」学校数 12/16校=75.0% (R5学校運営調査より) ○「15歳児の永久歯のう歯保有者の割合」 47.4%(前年度 43.6%) (R5歯科疾病実態調査より) ・食育はいずれも前年度並み。う歯は前年度を下回った。 ○通学路安全マップの活用校数 (16/16校) ○交通安全指導、水難防止指導の実施校数 (16/16校) ○避難訓練(火災・地震等想定)の実施校数 (16/16校) ○通学路安全プログラムによる合同点検の実施小学校区 [R5点検地区]鷹島小、福島養源小学校区
		②「松浦っ子のよりよい成長のために」を活用した指導の充実	A ○「朝食を毎日食っている」児童生徒の割合(R5全学調「質問紙調査」、()内は前年度) [小学校]96.1%(95.5%) [中学校]90.5%(94.3%) ・小学校は市基本計画R6年度目標値(95%)を達成した。中学校は前年度を下回った。 ○「携帯電話やスマートフォンの取り扱いについての指導、啓発している学校数」 16/16校=100% ○リーフレット「松浦っ子のよりよい成長のために」の活用校数 16/16校=100% ○松浦市学校保健大会の開催(令和6年11月25日) ・参加者約120人 ・発表(医師会)「成長曲線について」 (坂口クリニック院長 坂口 点氏) ・講演会「小中学生のストレスマネジメント」 (大村共立病院長 宮田雄吾氏)
	(2) 体育及び武道指導の充実	① 児童生徒の体力向上と運動習慣の改善	A ○市中体連球技・武道大会、陸上競技大会、駅伝大会、小学校陸上競技大会の実施 ・県中総体成績上位者生徒3人(陸上、水泳、卓球)が九州大会への出場権を得る ※九州大会陸上は中止 ○各校の運動会、体育大会の実施 ・昼食有りの学校数増。来場者数増。来場者の制限等無し。 ○体育の授業改善「アクションプラン」作成 (16/16校) ・体力向上、運動習慣の機会拡充 ○「なぎなた指導者スペシャリスト」事業の実施 ・中学校4校の生徒への武道(なぎなた)指導 ※残りの中学校へは出前講座を活用し指導者派遣 ・「なぎなたのまち松浦」の啓発、推進 ○「なぎなた指導者講習会」の実施 ・中学校保健体育科担当者を対象に実施(夏季休業中) ○部活動休養日の週2日以上実施している運動部(100%) ○部活動時間(平日 2時間程度、土・日曜日3時間程度)を適切に実施している運動部(100%)

項 目		評価	活 動 内 容 等
4 児 童 生 徒 の 学 び を 支 え る 学 校 づ く り	(1)児童生徒が安心して 学ぶことができる学級 づくり ・「Stop the 不登校！」 を活用した組織的な 取組の推進	B	○R5年度の全児童・生徒数に対する不登校の割合〔()内は前年度〕 〔小学校〕12人(前年度15人)1.1%(−0.2 減) 〔中学校〕34人(前年度38人)5.7%(−0.9 減) 〔全 体〕46人(前年度53人)2.7%(−0.3 減) ・教育振興基本計画R6年度目標値(全体 0.6%)は未達成 ・過去最高人数であった令和4年度よりも改善傾向 ○リーフレット「Stop the 不登校」の活用校数(16/16 校) ○学習規律、支持的風土の醸成を目的とした「授業づくり研修会」の開催 ○小学校高学年の教科担任制導入の促進、啓発
	(2)子供の心と向き合う教育 相談体制の充実	A	○「いじめ問題の解消率」 88. 0%(前年度 85.7%) (R5問題行動・不登校等調査結果より) ○ステップ子育て相談会の実施(年3回) ○スクールカウンセラー(県派遣5人、市1人)6人の中学校7校(小学校はエリア校)への配置 ○スクールソーシャルワーカー配置事業の活用(県派遣2人) ○小学3年、中学1年の児童生徒対象の全員面談の実施
	(3)特別な配慮を要する 児童生徒への支援体制 の充実	A	○5歳児健診からの就学支援 ・子育て・こども課との連携による就学支援 ・幼稚園、保育所等の訪問実施 ・就学前の保護者との面談及び就学支援 ・就学前の個別の教育支援計画の作成と小学校へ引継ぎ ○「個別の教育支援計画」作成率 〔就学前〕 100% 〔就学後〕 100% ○通級指導教室の設置及び充実 〔小学校〕御厨小、志佐小、調川小、福島養源小の4校に設置 ・市内小学校8校から、児童68人(R4年68人)が通室 ・学習支援や特性に応じた効果的な指導ができた。 〔中学校〕御厨中、志佐中の2校に設置 ・市内中学校6校から、生徒27人(R4年26人)が通室 ・学習支援や特性に応じた効果的な指導及び進路、進学先に応じた支援ができた。 ○教育支援員の配置及び充実 ・特別支援教育支援員を 22 人配置 〔配置率〕 22/24 人=91.6%※配置率＝現員数／配置要望数 ・学校からの情報収集(児童生徒の特性や教育支援員要望数他)を行い、適正な配置に努めた。 ・学校指導訪問において教育支援員の配置効果(対象児童生徒の生活上の安定及び全般的な変容)等を確認 ・教育支援員研修会の開催(年1回)による資質向上 ○指導教諭の活用(研修会、学校訪問)

項 目		評価	活 動 内 容 等
5 教 職 員 の 資 質 向 上	(1)働き方改革の実現による教職員の志気の向上	B	○1か月あたり 80 時間超過勤務教職員数 延べ 30 人(R4年度 8 人) ※延べ 30 人(中学校4校 12 人の教職員)、小学校0人 ・1か月あたり 80 時間超過勤務ゼロを目指した教職員指導 ・ノ部活動デー、部活動休養日、定時退勤日の完全実施 ・在校等時間の自己管理にかかる教職員の意識改革 ○教職員ストレスチェックの実施(年2回)
	(2)「長崎県 教員等としての資質向上に関する指標」を踏まえた資質の向上	A	○「長崎県 教員等としての資質向上に関する指標」の活用 ・校長研修会、教頭研修会、中堅教員研修会他 ○長崎大学大学院教授、西南女学院大学教授を講師として実施し教職員研修会の実施 ・市教頭研修会(管理職員としての資質向上) ・授業づくり研修会(英語科担当教員研修会) ○学習指導要領の浸透と教職員の資質向上 ・授業づくり研修会の充実(若手教員の育成) ・学校訪問における授業視察、校内研究会への指導主事派遣 ・県及び県教育センター主催の研修会等の受講促進 ・中央研修への教職員の計画的派遣
	(3)全ての教職員に求められる特別支援教育に関する専門性の向上	A	○新たな人事評価制度における校長面談を通じた指導 ・学校経営における特別支援教育の推進 ・個別の支援を要する児童生徒への組織的対応 ・特別支援教育コーディネータの活用 ・校内教育支援委員会開催 ○特別支援教育の研修会の充実と関係機関との連携 ・市特別支援教育コーディネータ連絡協議会他 ・県立佐世保特別支援学校及び各種関係団体との連携
6 学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 ・ 融 合 の 強 化	(1)コミュニティ・スクールの推進	A	○コミュニティ・スクール・地域学校協働本部の設置 〔設置校数〕 9/16校 R5:今福小・今福中学校に設置 ※R2 上志佐小学校、R3 福島養源小学校・福島中学校 R4 鷹島小・鷹島中学校、R4 調川小・調川中学校 ○地域・保護者と連携した学校行事等の充実 ・地域の人、物、事を活用した行事 ○市内一斉「みんなでオープンスクール」の再開(6月～2月) ・R5来校者数 市内16校延べ4559人
	(2)校種間及び関係機関の緊密な連携(幼保、小、中、高、子育て・こども課)	A	○松浦市幼保小連携推進協議会設立に向けた取組 ・県幼保小連携推進協議会担当者会の開催(R5. 6. 30) ・市幼保小連携推進協議会議の開催(R5.12.15) (協議会の組織編成、設置要綱策定についての協議) (協議会構成員についての検討) ○小、幼保連携による行事(入学体験・説明会)の再開、充実
	(3)少子化に対応した活力ある学校づくり	A	○第2次松浦市小・中学校適正配置基本計画(素案)の策定 ・答申内容の精査と基本計画の構想及び素案策定

5 社会教育の推進に関する事務

項 目	評価	活動内容等
(1) 学校・家庭・地域の連携強化	A	○社会教育委員会を1回開催した。 ○新たにコミュニティ・スクールとなった調川小・中学校区、今福小・中学校区において地域学校協働活動推進員各1人の令和6年度委嘱に向けて人選を進めた。 ○市青少年健全育成連絡協議会、各地区青少年健全育成組織、市少年センター補導委員連絡協議会、市PTA連合会への支援（補助金交付）を行った。 ○子ども会員への全国子ども会安全共済会への加入奨励、加入手続（補助金交付）を行った。 ○市青少年健全育成連絡協議会、市子ども会育成会連絡協議会、市少年センター補導委員連絡協議会の事務局業務を担った。 ○少年センター運営協議会を1回開催した。 ○少年センターにおいて、青少年に関する62件の相談に応じ、解決に向けて学校、家庭、地域、関係機関（警察、子育て・こども課等）と連携した。 ○少年センターにおいて、子どもたちへの声かけ、補導（青色回転灯装備車（少年センター専用車）によるパトロールを含む。）を、警察、少年補導委員（38人）、市青少年健全育成連絡協議会等と連携して実施した。 ○少年センターだよりを毎月発行した。 ○市内9地区全ての地区青少年健全育成組織にココロねっこ推進員1人を、市青少年健全育成連絡協議会にココロねっこ指導員4人をそれぞれ配置した。 ○青少年健全育成指導者研修会（兼 ココロねっこ指導員講習会）を開催した。 ○7月、11月の2回、有害図書等に関する立入調査を実施した。 ○白ポストを2か所（志佐、今福）に設置し、有害図書等を回収した。 ○メディア安全指導員を学校等へ2回派遣した。
	A	○市立公民館（8館）の一部、市立図書館（2館）の一部の主催講座・連携講座として、読み聞かせを開催した。 ○ながさきファミリープログラムファシリテーターを地区青少年健全育成組織へ1回派遣した。
	A	○各公民館の主催講座として、全ての公民館において、地域子ども教室をのべ89回開催し、のべ992人が参加した。

項 目		評価	活動内容等
			○放課後児童クラブ（学童保育）のスペースとして、上志佐公民館の一室を供用した。
(2) 生涯にわたる学びのサポート	① 生涯学習体制の充実	A	○まつうら出前講座ボランティア編への講師募集を行い、18 件の登録があった。 ○まつうら出前講座において、ボランティア編 37 件（878 人受講）、行政編 120 件（1,867 人受講）の活用があった。 ○公民館運営審議会を 1 回開催した。 ○市ホームページ等において、イベント、講座をはじめとした社会教育、スポーツに関する各種情報を周知した。 ○郷土誌編さん事業は、現在なし。
	② 生涯学習施設の整備	A	○社会教育施設（文化会館、公民館 8 館、図書館 2 館、少年センター、勤労青少年ホーム）の適切な管理運営に努め、必要な事業（工事、修繕、委託等）を実施した。 主なもの ・文化会館ふれあいホール外部調査業務委託 ・松浦市生涯学習センター通路施設点検調査診断業務委託 ・御厨公民館講堂空調機修繕 ・星鹿・鷹島公民館高圧受電設備取替修繕 ○自治公民館の整備（5 地区）への支援（補助金交付）を行った。 ○コミュニティ助成事業助成金を 3 地区へ交付した。
	③ 生涯学習機会の提供	A	○各公民館において、各種主催講座を開催した。（地域子ども教室を含む。） ・中央公民館 76 回、904 人 ・今福公民館 75 回、2,108 人 ・調川公民館 117 回、1,670 人 ・上志佐公民館 53 回、581 人 ・御厨公民館 74 回、1,644 人 ・星鹿公民館 73 回、982 人 ・福島公民館 95 回、1,210 人 ・鷹島公民館 81 回、622 人 計 644 回、9,721 人 ○各公民館において、公民館まつり等を開催した。 ○各公民館だよりを毎月発行した。 ○各公民館の利用状況

項 目		評価	活動内容等
			・中央公民館 2,770 回、17,250 人 ・今福公民館 1,614 回、10,433 人 ・調川公民館 790 回、4,840 人 ・上志佐公民館 517 回、5,331 人 ・御厨公民館 600 回、8,983 人 ・星鹿公民館 282 回、5,227 人 ・福島公民館 416 回、3,129 人 ・鷹島公民館 402 回、4,909 人 計 7,391 回、60,102 人 ○二十歳の式を挙行し、二十歳人（はたち～ず）199 人のうち 146 人が出席した。（出席率 73.4%）
	④ 人権教育の推進	A	○人権啓発映画上映会を開催し、150 人が参加した。
	⑤ 図書館運営の充実	A	○令和 5 年度末蔵書数 市立図書館 137,602 冊 福島図書館 27,464 冊 ○令和 5 年度末貸出冊数 市立図書館 99,697 冊 福島図書館 3,657 冊 ○令和 5 年度入館者数 市立図書館 26,404 人 福島図書館 2,667 人 ○図書館協議会の実施 10/4 11/15 2/22 3 回 ○第 2 次松浦市読書活動推進計画の策定 ○研修会への参加 ・西九州させぼ広域都市圏図書館相互スキルアップ事業 2/19 4 人参加 ・第 1 回図書館実務研修館 7/3 6 人参加 ・第 2 回図書館実務研修館 10/16 6 人参加 ・新任図書館長研修 9/20～9/22 ○図書館だよりの発行（毎月） ○市ホームページ、フェイスブック、NBC データ放送での図書館に関する各種情報の周知 ○図書館ボランティアの登録状況（令和 6 年 7 月 1 日現在） ・団体 5 団体 ・個人 9 人 ○ボランティア団体との協働による読み聞かせや図書館運営の充実 【市立図書館】 ・乳幼児から児童を対象とした図書館での読み聞かせの実施（4 回／月）44 回 のべ 235 人 ・市民読書の日配布する図書館利用促進カードの作成、配布 ・図書館主催イベントでの運営補助 ・尺八と二胡のしらべ（まりと愉快的音楽仲間たち

項 目		評価	活動内容等
			主催／図書館共催）10/22 97 人 ○本や図書館に興味を持たせる為の企画・行事の実施 【市立図書館】 ・こどもの読書週間イベント 4/23～5/12 どうぞよろしく！新・きらきら号です！4/23 83 人 絵本の中の一ページ展 4/23～5/12 図書館スタンプラリー 4/23～5/12 11 人 利用者カードお直し会 4/23～5/12 2 人 ・家読活動推進事業 春の野の花を音楽にのせて 5/3 90 人 秋の野の花を音楽にのせて 11/5 95 人 恐竜の島・御所浦と九州にいた恐竜たち 11/11 53 人 ・読書週間イベント 10/27～11/9 読書週間啓発のためのティッシュの配布 ・第2回夢が叶う図書館 8/18～（掲示 10 月）6 人 ・POP コンテスト 2023 12 月 応募 82 点 大賞 3 点 ・としょかんシネマ（毎月実施）延べ 107 人 ・特設コーナーの展開（毎月） ・企画展示コーナーの展開（毎月） ・行政連携コーナーの展開（毎月） ○小・中学校の図書館担当職員との連携強化 ・小中学校への団体貸出や図書館イベントの周知 ○移動図書館車によるサービス ・移動図書館車における貸出冊数 35,454 冊 ・移動図書館車デザイン画提供記念事業 「川端誠トークショー」1/28 78 人 「川端誠絵本ライブ」1/29 197 人（2 か所） ○まちづくり、情報発信機能としての図書館サービスの充実 【市立図書館】 ・すきスキだーいすき事業（子育て・こども課との連携事業）7、9、2 月を除く各月 ・出前講座（まつうら出前講座行政編『絵本の読み聞かせ』）みんなの子育て広場（対象／一般 親子）10/5 10 人 ・お泊り読書会への移動図書館車の配車 （政策企画課との連携事業）11/18、3/16 ・元寇フィールドワーク（文化観光課、文化財課との連携事業）8/10※台風により中止 ・認知症サポーター養成講座（まつうら出前講座・長寿介護課との連携事業 9/29 14 人

項 目	評価	活動内容等
		・読書週間及び読書活動推進計画啓発活動 水軍まつりでの利用案内、啓発ロゴ入りティッシュ、ふるさと納税PRブックカバーの配布 10/29 100セット配布 ・ミライ on 図書館電子書籍サービス体験会（県立長崎図書館との連携事業） 2/23 35人 ・西九州させば広域都市圏図書館相互スキルアップ事業加入（相互利用サービス、相互レベルアップサービス） ○図書館活動への理解や教育活動支援のための職場体験や研修活動、見学の受入 【市立図書館】 ・職場体験 志佐中学校職場体験 2人 松浦高等学校インターンシップ 2人 ・研修 公立学校職員社会体験研修（御厨中学校）1人 公立学校職員社会体験研修（志佐中学校）1人 ・見学 上志佐小学校1・2年生 16人 御厨小学校2年生 27人 調川小学校2年生 8人 福島養源小学校2年生 22人 志佐小学校2年生 70人 志佐小学校4年生 66人 ほしか保育園年長 12人 【福島図書館】 ・見学 福島養源小学校 9人
⑥ 人的交流事業の推進	A	○北海道鷹栖町、北海道福島町、長野県木曽町との相互交流事業を実施した。 ○国際教育・活動支援員 1人を任用し、市民の国際交流、国際教育活動を支援した。 ○松浦・マッカイル・モロイ杯 English スピーチ・コンテストを開催した。 ○オーストラリアデー・イベントを開催した。 ○市国際親善協会への支援（補助金交付）は、4年ぶりに姉妹都市マッカイル市との青少年使節団の相互派遣事業を実施した。 ○市国際親善協会の事務局業務を担った。 ・市内の小学5・6年生を対象とした English Day Camp を開催した。 ・会員と会員家族、友人を対象とした English Day 及

項 目		評価	活動内容等
			び世界のクッキング講座を開催した。 ・市民を対象とした英会話教室を開講した。 ・市内外の ALT を対象に日本語ボランティア活動を行った。
(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進	① スポーツ施設の整備・充実	A	○スポーツ施設（スポーツセンター、市民運動公園、武道館、野球場、福島総合運動公園、鷹島総合運動公園、鷹島スポーツ・文化交流センター、地域運動場（2 か所）、上志佐小学校夜間照明施設、旧学校体育館（4 館））の適切な管理運営に努め、必要な事業（工事、修繕、委託等）を実施した。 主なもの ・鷹島スポーツ・文化交流センターアリーナ照明施設改修（LED化）事業 ・福島総合運動公園ソフトボール場照明改修事業 ・福島総合運動公園ソフトボール場防球フェンス取替修繕 ・松浦スポーツセンター防球ネット取替修繕
	② スポーツ・レクリエーション事業の充実	A	○各種スポーツ大会、行事を開催した。 ・第 18 回市民体育大会 11 競技、1,045 人参加 ・第 74 回県民体育大会 10 競技、210 人参加 ・令和 5 年度郡市対抗県下一周駅伝大会 38 人参加 ・武道始め式 40 人参加 ・第 19 回市民駅伝大会 520 人参加 ・第 7 回なぎなた青島練成会 11 人参加 ○屋内施設利用者数（文化会館を除く。） 43,993 人 ○屋外施設利用者数 57,467 人
	③ スポーツ指導者の育成	A	○ニュースポーツに関する出前講座を、スポーツ推進委員（総員 34 人のうち）により 37 回、生涯学習課職員により 27 回開催した。
	④ スポーツ・レクリエーション活動の支援	A	○市スポーツ協会、福島町一周駅伝大会実行委員会、県下一周駅伝大会、同大会出場チームへの支援（補助金交付）を行った。 ○文化・スポーツ振興基金事業補助金（スポーツ部門）を 40 件交付した。 ○文化・スポーツ功労表彰（スポーツ部門）を 9 個人、3 団体に対し行った。 ○市スポーツ協会、市スポーツ少年団、市スポーツ推進委員協議会の事務局業務を担った。

項 目	評価	活動内容等
(4) 文化財の保護と文化芸術活動の推進 ① 文化芸術活動の推進	A	○辻利平画伯絵画等、市所有の美術品の適正管理に努めた。 ○市民文化祭（作品展示）を開催し、414 点の出品と 1,300 人の来場があった。 ○市民文化祭（舞台発表）を開催し、19 団体の出演と 394 人の来場があった。 ○文化会館自主事業として、指定管理者により 9 つの事業が開催された。 ○文化会館利用者数 61,646 人 ○市文化協会、県展実行委員会への支援（補助金交付）を行った。 ○文化・スポーツ振興基金事業補助金（文化部門）を 12 件交付した。 ○文化・スポーツ功労表彰（文化部門）を 3 個人に対し行った。 ○来年秋開催の第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭に向けた松浦市実行委員会を設立した。 ○長崎県美術展覧会移動展を本市で開催し、97 点の作品を展示、363 人の来場があった。

6 文化財の推進に関する事務

項 目	評価	活動内容等
(1)文化財の保存と活用	①文化財の指定と保全管理	○国指定史跡鷹島神崎遺跡防犯・防災パトロールを実施した。 ○県指定史跡「松浦党梶谷城跡」景観対策事業として樹木の伐採を行った。
	②文化財を活用したまちづくり	○文化財保存活用地域計画策定事業を実施し素案の策定を行った。 ○旧長醫家住宅主屋の清掃を市役所御厨・星鹿地区職員のボランティアによる協力を得て実施した。台風被害による破損があり一般公開は実施できなかった。 ○市道改良事業に伴う中ノ瀬遺跡の本調査を行った。
	③国史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画の具現化	○保存管理計画における中期(10年)目標へ向けた取組を実施した。 ○日本における水中遺跡保護体制の整備充実に関する調査研究事業にともなうパイロット事業(以下「水中遺跡保護パイロット事業」)に関する業務を受託し、年度内事業を完了させた。 ○モニタリング調査を3回実施した。 ○鷹島海底遺跡調査指導委員会及び保存処理専門部会を開催し、遺物の保存処理等で意見と指導を受けた。 ○九州歴史資料館と連携し、出土遺物のX線CT調査を実施した。 ○出土遺物台帳整備事業を実施し、データベース入力等を行った。 ○鷹島海底遺跡出土遺物の保存処理を実施し、木製品等の強化処理を行った。
(2)文化財の情報発信	①文化財の情報発信	○鷹島海底遺跡出土遺物の三次元計測を行った。 ○SNSを活用し、埋蔵文化財センターの活動情報等を発信した。 ○水中遺跡保護パイロット事業の調査状況を、パネル等を用いて公開した(水軍まつり、鷹島モンゴル祭り、松浦こども博)。 ○博物館等の展示に遺物の貸出しを行った。 ・九州国立博物館平常展 ・福岡市博物館常設展示 ・福井洞窟ミュージアム常設展示 ・大野城心のふるさと館開館5周年記念シンポジウム関連展示「水の中からこんにちは！」 ・鹿児島県歴史資料センター黎明館特別展「中世の争乱と南九州の武士たち」 ・鎌倉歴史文化交流館企画展「文永の役 750年 異国襲来ー東アジアと鎌倉の中世ー」

項 目		評価	活動内容等
			○各種講演等に職員を派遣した。 ・長崎県主催「公開シンポジウム『蒙古襲来』の痕跡を探る」 ・松浦ロータリークラブ 50 周年記念式典 ○市内外へのイベントへ出展し PR を行った。 ・福岡市西区「子どもエキスポ」 ・福岡市西区「いとにぎわい祭り」 ・松浦水軍まつり ・松浦こども博 ○元寇所縁のネットワークキックオフミーティングを開催し、組織化への準備を行った。
	②歴史文化に親しむ 機会の提供	A	○体験学習会等各種講座を実施した。 ・埋蔵文化財センター体験学習（調川中、鷹島中、今福中、上志佐小、今福小、志佐小、福島養源小、御厨小、鷹島小） ・出前講座（今福中、福島中、教職員等初任者研修、松浦文化協会） ・鷹島小学校「水中考古学クラブ」 ・鷹島公民館講座「水中考古学教室」 ・職場体験（鷹島中2年生） ・水考研特別顧問池田教授講演（県立高校地歴公民部会） ○埋蔵文化財センターにおいて企画展を2回開催した。 ・「夏休み子ども IKARI 展」 ・「令和5年度鷹島海底遺跡発掘調査速報」 ○埋蔵文化財センターの入館者数は、4,897 人（対前年度比△6.12%の伸び率）であった。
	③水中考古学の拠点 を目指すための普 及・啓発活動	A	○長崎県及び長崎県議会に対し「鷹島神崎遺跡の保存と活用について」と題し、研究機関の設置等について要望した。 ○水中遺跡保護パイロット事業において、現地研修会を開催し 14 名が参加した。
(3)伝統文化の保存 と継承	①伝統文化の継承	A	○市指定無形民俗文化財の継承及び公開に努めるため保存会等へ助成を行い保存・継承に努めた。 ○各保存団体等へアンケートを実施し、現況把握に努めた。 ○市指定無形民俗文化財「星鹿ジャンガラ」を映像で記録した。

総合評価

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会は毎年、教育行政の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定されました。この法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するため令和5年度の施策について「自己点検・評価」を実施しました。

コロナ禍前の日常への回復が進んでいる中、令和5年度も各施策の実施については概ね順調に進捗している状況が確認できました。

今後におきましても「第2期松浦市教育振興基本計画(令和2年度～令和6年度)」に基づく教育行政の推進に努めてまいります。